

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

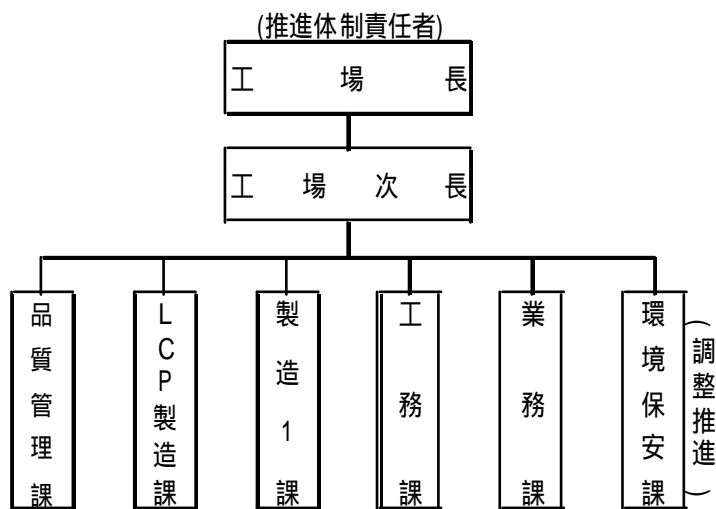
上野製菓株式会社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、技術力を駆使して、すべての事業において環境負荷の低減に取り組み、地域環境・地球環境の保全と向上を目指します。

1. 環境保全活動を推進するため、事業運営にISO14001に沿った環境マネジメントを構築し、運用します。
2. 事業活動に伴い環境に有意な影響を与える項目に関して、継続的に改善し、環境汚染の予防に努めます。その重要項目は、
原料・資材の再利用
廃棄物、排出物の削減及び再利用
環境不快物質及び有害物質の削減あるいは封じ込め
3. 環境に関する法規制及び当本部が定めた自己規制を遵守します。
4. 環境パフォーマンスの向上のため、目的、目標を設定し、改善活動を推進するとともに定期監査の結果などにより見直しを行います。
5. 技術開発、研究開発及び購買と販売活動を通じて、より環境負荷の少ない製品、プロセスの開発に努めます。
6. 環境教育を通して、当本部で働く全ての人々の環境保全に関する意識の向上に努めます。
7. この方針は、関係従業員に周知徹底するとともに、一般にも公開します。

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

計画や取り組み結果については、当社ホームページにより公表します。

1-2 環境保全活動に関する組織体制



2環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・変圧器をトッランナ-変圧器に更新(250kVA×3台相当分、50kVA2台) ・スチ-ムリークの早期発見、増し締め ・トラップ診断を実施し、不良トラップを更新、改良 ・蒸気ラインの保温の徹底 ・購入電力量平成17年度比4.3%減 ・CO₂排出量平成17年度比5.0%減 ・省エネ型の蛍光灯171台(293本)交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンフロンタイプ機器への更新 ・経年劣化機器更新時、高効率機器の採用 ・平成27年度までに特定物質排出量を平成17年度比15.0%抑制する ・ボイラ-熱源を灯油から天然ガスに変更することを検討 ・工場内外灯を省エネタイプに更新
地域社会への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場周辺の清掃活動 13回実施 ・猪名川河川敷清掃活動 1回実施 ・事業所周辺の違反広告物除去活動 1回実施 ・伊丹市EMS監査に参画 ・使用済み切手の収集による海外支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動の継続実施 ・事業場周辺の清掃活動の実施(計画:月1回以上実施) ・猪名川河川敷清掃活動の実施(計画:年2回以上実施) ・事業所周辺の違反広告物除去活動の実施(計画:年1回以上実施)
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理業者との契約書、マニフェストの適正管理実施 ・産業廃棄物量平成18年度比83.5% ・産業廃棄物の一部を再資源化(平成22年度実績4.8%) ・ハ-ル-レス会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年4月までにマニフェストを電子化する ・産業廃棄物処理業者の監査を行う ・目標:産業廃棄物量平成18年度比60%減 ・目標:産業廃棄物全体の15%を再資源化 ・今後も継続
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の漏洩はなかった ・PCBの保管が適正であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質漏洩の未然防止 ・適正管理 ・PCB機器の保管場所として新たに危険物倉庫の建設、一括管理保管
環境汚染の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の漏洩・火災に対応するための訓練実施 ・ボイラ-排ガスの定期測定 外部委託業者による分析を年1回以上実施 ・廃水分析 pH,TOC,DO等について品質管理課で毎日分析、外部委託業者による分析を1回/週実施 ・活性汚泥処理施設の改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続実施 ・活性汚泥処理施設の適切な運転